

選抜区分	学科名	募集人員	種別・人員内訳	大学入学共通テスト利用の有無	試験科目等	出願資格		試験会場	願書受付期間 試験日 合格発表	配点					出題方針・評価方針	備考	
						出願資格や推薦基準	調査書の学習成績の状況			書類審査		個別学力検査					合計
										エントリーシート	調査書・実績報告書	小論文	プレゼンテーション	面接			
総合型選抜	国際文化学科	30		無	<ul style="list-style-type: none"> <li>■書類審査(調査書等)</li> <li>■小論文</li> <li>■プレゼンテーション</li> <li>■面接</li> </ul>	次の①から④のいずれかに該当し、かつ⑤を満たす者 ①日本の高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7(2025)年3月に修了見込の者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者 ④その他相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者 ⑤国際文化学科のアドミッション・ポリシーを理解し、本学での学習や学習以外の活動に高い意欲を持ち積極的に取り組める者	問わない	本学	願書受付 2024年9月上旬  試験日 2024年9月下旬  合格発表 2024年11月上旬	100	100	100	100	400	書類審査:「エントリーシート」「調査書」「実績報告書」の資料をもとに、高等学校教育の学習成果、強い学習意欲、主体的に取り組む姿勢、国際文化学科の理解度などを評価します。  小論文:現代社会の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、入学後の学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。  プレゼンテーション:①高等学校生活での実績、②将来の目標、③入学後の学習計画等をプレゼンテーションしてもらい、強い学習意欲、主体的に取り組む姿勢、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。  面接:プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた個人面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。	■ 専願とする。 ※国際観光産業学科、人間健康学部スポーツ健康学科・健康情報学科の総合型選抜との併願は認めない	

選抜区分	学科名	募集人員	種別・人員内訳	大学入学共通テスト利用の有無	出願資格		試験会場	願書受付期間 試験日 合格発表	配点				出題方針・評価方針	備考	
					試験科目等	出願資格や推薦基準			書類審査		個別学力検査				合計
									エントリーシート	調査書・実績報告書	小論文	面接			
学校推薦型選抜	国際文化学科	50	<b>【出願資格】</b> 次の①及び②のすべてに該当する者が出願できます。 ①高等学校等を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者。 ②国際文化学科のアドミッション・ポリシーを理解し、人物が優秀で出身高等学校長が責任をもって推薦し、かつ、国際文化学科の定めた各推薦種別の基準を満たしている者。なお、学習成績の状況と推薦基準は次のとおりです。												
			一般推薦	25	無	■書類審査(調査書等) ■小論文 ■面接	<b>【推薦基準】</b> 高等学校において人物が優秀であると認められた者で、高等学校を令和6(2024)年に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者	B段階以上	願書受付 2024年11月中旬  試験日 2024年12月上旬  合格発表 2024年12月下旬	100	100	100	300	書類審査:「エントリーシート」「調査書」「実績報告書」の資料をもとに、高等学校教育の学習成果、強い学習意欲、主体的に取り組む姿勢、国際文化学科の理解度などを評価します。  小論文:現代社会の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、入学後の学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。  面接:個人方式の面接です。エントリーシート、調査書、実績報告書の資料を参考に質疑応答を含めた面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。	■専願とする。  ※国際学部国際観光産業学科、人間健康学部スポーツ健康学科・看護学科・健康情報学科の学校推薦型選抜との併願は認めない  ■学校推薦型選抜の志願者で、大学入学共通テストを出願している場合、受験することを推奨する。なお、共通テスト受験の有無が合否に影響することはない。
			専門高校及び総合学科推薦	5	無	■書類審査(調査書等) ■小論文 ■面接	<b>【推薦基準】</b> 高等学校において人物が優秀であると認められた者で、次の①②のいずれかに該当する者 ①高等学校の職業教育を主とする学科(商業、工業、農業、水産、情報、福祉、看護等)の高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ②高等学校の総合学科を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者	B段階以上		100	100	100	300		
地域枠推薦A	20 (地域枠推薦Bの10人程度を含む)	無	■書類審査(調査書等) ■小論文 ■面接	<b>【推薦基準】</b> 高等学校において人物が優秀であると認められた者で、次に該当する者 (地域枠推薦A) 沖縄県及び奄美群島 <sup>※1</sup> に所在する高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 (地域枠推薦B) ①から③のいずれかに該当する者 ①沖縄県北部12市町村 <sup>※2</sup> に所在する高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ②令和6(2024)年3月31日以前から1年以上継続して沖縄県北部12市町村 <sup>※2</sup> に住所を有し居住している者 <sup>※3</sup> で、高等学校を令和6(2024)年3年に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ③高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者の保護者 <sup>※4</sup> 、配偶者又は一親等の親族が令和6(2024)年3月31日以前から1年以上継続して沖縄県北部12市町村に住所を有し居住している者 <sup>※3</sup>  ※1 奄美群島に所在する高等学校とは、大島高等学校、奄美高等学校、大島北高等学校、古仁屋高等学校、喜界高等学校、徳之島高等学校、樟南第二高等学校、沖永良部高等学校、与論高等学校を指します。 ※2 沖縄県北部12市町村とは、名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村のことを指します。 ※3 令和6(2024)年3月31日時点で1年以上の継続在学期間があることを指しています ※4 保護者とは、親権を行う者又は未成年後見人とする  (1)上記②については、志願者本人で住民票抄本により確認してください。 (2)上記③については、志願者本人で住民票謄本(保護者、配偶者又は一親等の親族と同一世帯を成している場合)又は保護者、配偶者又は一親等の親族の住民票抄本と戸籍謄本(異なる世帯を成している場合)により確認してください。  *不明な点がある場合は、入試・広報課までお問い合わせください。	B段階以上	100	100	100		300					
地域枠推薦B	(10人程度)	無	■書類審査(調査書等) ■小論文 ■面接	(地域枠推薦B) ①から③のいずれかに該当する者 ①沖縄県北部12市町村 <sup>※2</sup> に所在する高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ②令和6(2024)年3月31日以前から1年以上継続して沖縄県北部12市町村 <sup>※2</sup> に住所を有し居住している者 <sup>※3</sup> で、高等学校を令和6(2024)年3年に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ③高等学校を令和6(2024)年3月に卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者の保護者 <sup>※4</sup> 、配偶者又は一親等の親族が令和6(2024)年3月31日以前から1年以上継続して沖縄県北部12市町村に住所を有し居住している者 <sup>※3</sup>  ※1 奄美群島に所在する高等学校とは、大島高等学校、奄美高等学校、大島北高等学校、古仁屋高等学校、喜界高等学校、徳之島高等学校、樟南第二高等学校、沖永良部高等学校、与論高等学校を指します。 ※2 沖縄県北部12市町村とは、名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村のことを指します。 ※3 令和6(2024)年3月31日時点で1年以上の継続在学期間があることを指しています ※4 保護者とは、親権を行う者又は未成年後見人とする  (1)上記②については、志願者本人で住民票抄本により確認してください。 (2)上記③については、志願者本人で住民票謄本(保護者、配偶者又は一親等の親族と同一世帯を成している場合)又は保護者、配偶者又は一親等の親族の住民票抄本と戸籍謄本(異なる世帯を成している場合)により確認してください。  *不明な点がある場合は、入試・広報課までお問い合わせください。	B段階以上	100	100	100	300						

選抜区分	学科名	試験区分	募集人員	種別・人員内訳	大学入学共通テスト利用の有無	大学入学共通テストの利用科目	個別学力検査	出願資格	試験会場	願書受付期間 試験日 合格発表	配点										出題方針・評価方針	備考			
											書類審査		個別学力検査		大学入学共通テスト								合計		
											エントリーシート	調査書・実績報告書	小論文	英語	英語	国語	地理歴史・公民	数学	理科	情報					
一般選抜	国際文化学科	前期日程	85	A方式	55	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国語</li> <li>■英語(リーディング・リスニング)</li> <li>■地理歴史・公民から1科目を選択</li> </ul> *2科目以上受験した場合は高得点の1科目を合否判定に利用する。 *「地理総合/歴史総合/公共」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組み合わせは問わない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■数学、理科、情報から2教科・2科目を選択</li> </ul> *3教科・3科目以上受験した場合は高得点の2教科・2科目を合否判定に利用する。 *理科のうち「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組み合わせは問わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■書類審査(調査書等)</li> <li>■小論文</li> <li>■英語</li> </ul> *英語の出題範囲は、英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、論理・表現Iでリスニングは除く。	令和7(2025)年度大学入学共通テストを受験した者で次の①から④のいずれかに該当する者 ①高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者又は令和7(2025)年3月卒業見込の者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7(2025)年3月修了見込の者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者 ④その他相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者	本学 那覇 東京 大阪 福岡	願書受付 2025年 1月下旬～ 2月上旬  個別学力検査 2025年2月 25日(火)  合格発表 2025年3月 月上旬	100	200	200					300 (リーディング 150 リスニング 150)	200	200	400	1600	大学入学共通テスト：高等学校教育における教科(英語、数学、国語、理科、社会、情報等)の内容をバランスよく修得しているかを評価します。 書類審査：「エントリーシート」「調査書」「実績報告書」をもとに、高等学校教育の学習状況、国際文化学科の理解度を評価します。 小論文：現代社会の課題をテーマとした記事や論文等を読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、国際文化学科での学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。 英語(個別学力検査)：コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、英語表現Iの範囲におけるリーディング力とライティング力に関する問題を出題し、入学後の学習活動に必要な英語による課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。	■大学入学共通テストの成績、小論文、英語及び書類審査で合否判定する。
				B方式	30	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語(リーディング・リスニング)</li> <li>■国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報から2教科・2科目を選択</li> </ul> *3教科・3科目以上受験した場合は高得点の2教科・2科目を合否判定に利用する。 *「地理総合/歴史総合/公共」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組み合わせは問わない。 *理科のうち「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組み合わせは問わない。												300 (リーディング 150 リスニング 150)	200	200	400	1200		

選抜区分	学科名	試験区分	募集人員	種別・人員内訳	大学入学共通テスト利用の有無	大学入学共通テストの利用科目	個別学力検査	出願資格	試験会場	願書受付期間 試験日 合格発表	配点							合計	出題方針・評価方針	備考		
											書類審査		個別学力検査		大学入学共通テスト							
											エントリーシート	調査書・実績報告書	小論文	英語	国語	地理歴史・公民	数学				理科	情報
一般選抜	国際文化学科	後期日程	10		有	<p>■英語(リーディング・リスニング)</p> <p>■国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報から2教科・2科目を選択</p> <p>*3教科・3科目以上受験した場合は高得点の2教科・2科目を合否判定に利用する。</p> <p>*「地理総合/歴史総合/公共」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組合わせは問わない。</p> <p>*理科のうち「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の科目を選択する場合、選択解答する2つの出題範囲の組合わせは問わない。</p>	<p>■書類審査(調査書等)</p> <p>■小論文</p>	<p>令和7(2025)年度大学入学共通テストを受験した者で次の①から④のいずれかに該当する者</p> <p>①高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者又は令和7(2025)年3月卒業見込の者</p> <p>②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7(2025)年3月修了見込の者</p> <p>③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者</p> <p>④その他相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者又は令和7(2025)年3月31日までにこれに該当する者</p>	本学那覇	<p>願書受付 2025年 1月下旬～ 2月上旬</p> <p>個別学力検査 2025年3月 12日(水)</p> <p>合格発表 2025年3月 下旬</p>	100	200	300		400	1000	<p>大学入学共通テスト：高等学校教育における英語に加え、その他の教科から高得点の2科目を評価します。</p> <p>書類審査：「エントリーシート」「調査書」「実績報告書」をもとに、高等学校教育の学習状況、国際文化学科の理解度を評価します。</p> <p>小論文：現代社会の課題をテーマとした記事や論文等を読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、国際文化学科での学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。</p>	<p>■大学入学共通テストの成績、小論文及び書類審査で合否判定する。</p>				

選抜区分	学科名	募集人員	大学入学共通テスト利用の有無	試験科目等	出願資格	試験会場	願書受付期間 試験日 合格発表	配点			出題方針・評価方針	備考
								個別学力検査		合計		
								小論文	面接			
社会人特別選抜	国際文化学科	若干人	無	■小論文 ■面接	次の①から③のいずれかに該当する者 ①日本の高校卒業又は日本国で通常の課程による12年の学校教育を修了し、令和7(2025)年4月1日現在、社会人として5年以上経過し、年齢が満23歳以上の者(就職の有無は問わない) ②日本国籍以外の国籍を有し、在留資格が定住者となっている者で通常の課程による12年の学校教育を修了し、令和7(2025)年4月1日現在、社会人として5年以上経過し、年齢が満23歳以上の者(就職の有無は問わない) ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、令和7(2025)年4月1日現在、社会人として5年以上経過し、年齢が満23歳以上の者(就職の有無は問わない)	オンライン	願書受付 2024年11月中旬  試験日 2024年12月上旬  合格発表 2024年12月下旬	100	100	200	<b>小論文:</b> 現代社会の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、入学後の学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。 <b>面接:</b> 個人方式の面接です。「エントリーシート」等の資料を参考に質疑応答を含めた面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。	
帰国生徒特別選抜	国際文化学科	若干人	無	■小論文 ■面接	次の①②のすべてに該当する者 ①日本国籍を有する者 ②外国の正規の学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を卒業(修了)又は令和7(2025)年3月31日までに卒業(修了)見込の者。ただし、最終学年を含め2年以上継続して外国の正規教育制度に基づく学校教育を受けていた(いる)者とする。	オンライン	願書受付 2024年11月中旬  試験日 2024年12月上旬  合格発表 2024年12月下旬	100	100	200	<b>小論文:</b> 現代社会の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、入学後の学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。 <b>面接:</b> 個人方式の面接です。「エントリーシート」等の資料を参考に質疑応答を含めた面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。	
外国人留学生特別選抜	国際文化学科	5	無	■小論文 ■面接	次の①から④のすべてに該当し、かつ⑤又は⑥のいずれかに該当する者で、本学入学後の在留資格が「留学」となる者。 ①日本国籍を有しない者。 ②出入国管理難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者。 ③修学に必要な日本語の能力を有する者。 ④外国の正規の学校教育における12年の課程を修了した者又は令和7(2025)年3月修了見込の者。 ⑤独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」の受験について、次のいずれかに該当する者。 ア:「2023年度日本留学試験(6月実施)」を受験済みの者 イ:「2023年度日本留学試験(11月実施)」を受験済みの者 ウ:「2024年度日本留学試験(6月実施)」を受験済みの者 エ:「2024年度日本留学試験(11月実施)」を受験済みの者 *日本留学試験の「日本語」の得点が250点以上取得した者を対象に合否判定を行う。 ⑥独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が共催で実施する日本語能力試験N2以上に合格した者。	オンライン	願書受付 2024年11月中旬  試験日 2024年12月上旬  合格発表 2024年12月下旬	100	100	200	<b>小論文:</b> 現代社会の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を800字程度で論じてもらい、入学後の学習活動に必要な課題理解力・分析力、表現力をもっているかを評価します。 <b>面接:</b> 個人方式の面接です。「エントリーシート」等の資料を参考に質疑応答を含めた面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力、表現力、国際文化学科の理解度を評価します。	
3年次編入学試験	国際文化学科	5	無	■小論文 ■面接	次のいずれか1つに該当する者 ①大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し、60単位以上取得した者又は見込の者 ②短期大学を卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ③高等専門学校を卒業した者又は令和7(2025)年3月に卒業見込の者 ④専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1700時間以上又は62単位以上であること)を満たすものを修了した者(ただし、学校教育法第56条に規定する大学入学資格を有する者に限る)又は令和7(2025)年3月に修了見込の者 ⑤外国の正規の学校教育における14年の課程を卒業(修了)した者又は令和7(2025)年3月修了見込の者 *外国人留学生志願者は、日本留学試験の日本語の聴解・聴読解、読解、記述の合計点数が280点以上、又は日本語能力試験N1以上の取得者。	オンライン	願書受付 2024年11月中旬  試験日 2024年12月上旬  合格発表 2024年12月下旬	100	100	200	<b>小論文:</b> 編入を希望する専門分野の課題をテーマとした記事や論文などを読んだ上で、自らの主張と根拠を1200字程度で論じてもらい、3年次編入学後の学習・研究活動に必要な課題理解力・分析力・表現力をもっているかを評価します。 <b>面接:</b> 個人方式の面接です。「エントリーシート」、大学等在籍時の成績等の資料を参考に質疑応答を含めた面接を通して、他者との対話力、課題理解力・分析力・表現力、国際文化学科の理解度に加え、編入を希望する専門分野を学ぶための基礎的な知識・技能を有しているかを評価します。	